

大会運営の カギを握るトイレの設置

寒いときこそ近くにトイレがほしい!

ウィンタースポーツの国際大会は日本国内で数多く開催されています。競技によってはスキー場の山頂付近にSTART地点がもうけられ、各国の選手、コーチ、大会役員の皆さんが早朝から終日詰めることとなります。寒さと緊張の合い混じる中、トイレの不安を解消させる事が円滑な大会運営のカギとなります。

「仮設のトイレだと水が凍ってしまうこともあります。また、今までは設置しても降ろすのが大変で、いつも苦労しています」と競技委員長の手塚氏はおっしゃいます。



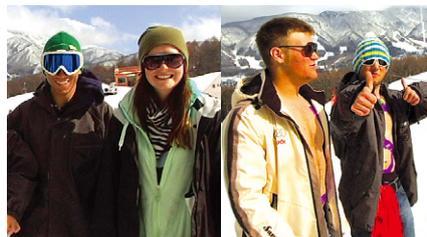
ゲレンデの中腹に設置されたラップポン

海外からの観戦客も興奮! その使い心地は?

母国の選手を応援しに駆けつけた海外からの観戦客は、初めて使うラップポンの珍しさに大興奮の様子でした。また、「いつもトイレがなくて実は困っていました。時間がなくてレストハウスまで行けないので、トイレが近くにあると本当に助かります」と女性のスタッフの方は話します。

さらに、「普通の仮設トイレだと設置や輸送費が大変だけど、ラップポンならここだという所に持って行って簡単に設置できるから手軽で良いね」と尾形氏も話します。

ウィンタースポーツのような特殊な設置場所にもラップポンだからこそ応えられます。



使用者からは“ファンタスティック!!”の声も

Interview



スノーボードクロス・
ハーフパイプ競技委員長
手塚 浩幸 様



北海道スキー連盟
スノーボード部長
尾形 修 様

2009FIS スノーボードジュニア 世界選手権大会組織委員会

概要	国際スキー連盟(FIS)、(財)全日本スキー連盟(SAJ)
運営主体	2009FISスノーボードジュニア世界選手権大会組織委員会
場所	北志賀高井富士スキー場
期日	平成21年(2009年)3月1日(日)~8日(日)